

高槻JAZZ風景 MAP&プログラム

ちょっとした街角で

演奏が始まり、

いつもの何気ない風景に

音楽がある一日。



まちかどライブ

阪急高槻市駅高架下広場 (高槻ブルージャズスクエア)
アクトアモレー正面玄関 (プロムナードステージ)

YANAGAWA The Sunny Side Jazz Orchestra

高槻市立柳川中学校の
スイングガールズ&ボーイズがやってくる!

& 小濱達郎ライブ!

他、学生ミュージシャンも参加予定!



アクトアモレー
(プロムナードステージ)

地元、芥川にちなみ「アクトアモレー」と命名された、JR高槻駅の駅前に、ひととき目をひくツインタワーと大きなドームを有する複合施設。著名なデザイナーの設計を基にしたという施設の顔、アクトプロムナードステージがスイングガールズ&ボーイズの舞台となる。

演奏スケジュール

13:30~ YANAGAWA The Sunny Side Jazz Orchestra
14:30~ 小濱達郎



阪急高槻市駅高架下
(高槻ブルージャズスクエア)

高槻の若者が通う「ミンク・阪急高槻」に隣接した高架下スペース。最近では、まちなか挙げてのアートイベント「アートDEわくわくストリート」での学生によるライブイベントで、「高槻ブルージャズスクエア」としてリニューアル。これからの高槻出身アーティストを輩出する場として期待が高まる。

演奏スケジュール

16:30~ YANAGAWA The Sunny Side Jazz Orchestra

おじゃましますライブ

高槻センター街商店街 / たかつき中通り本通り商店街 / 松坂屋(東側)

お店の軒先からこんにちは!

関西大学Jazz研究会、高槻市立柳川中学校OBのみなさん、学生ミュージシャンが出演!

演奏スケジュール 13:00~18:00 商店街を周遊ライブ

協力いただいたお店の方々に

おじゃまします
突撃取材!



松坂屋高槻店

「生活と文化を結ぶ」のキャッチフレーズで知られる老舗百貨店。高槻に開店して30年余り。毎日お洒落な高槻マダムが集い、地域住民のニーズに密着してきた。今回は、「演奏したい!」という若者たちのニーズにも応え、スペースを開放。



寺本呉服店 和香庵 寺本佳弘さん
(高槻センター街商店街 / 呉服・雑貨)

「このあたりで一番古いかね」。創業は約100年。訪問や展示会販売を一切せず店売りに力を注ぐ。和洋融合や小物の充実ぶりは「常に店頭立つ」事で時代の変化に対応してきた嗅覚の証。「ジャズストリートは賑やかでいいですね。市外からのお客さんも『おもしろい店やな』言うて買い物していく人多いよ」。自らの目で今日も行きかう人を見つめる。



八百浅果物店 宮西康成さん
(高槻センター街商店街 / 青果)

大正2年創業、4代目の老舗。オリジナルの前掛けが街の果物屋感をそそる。「スーパーにはおいていないもん」と贈答用と季節ものを種類多く並べるこだわりをもち、取材時には干し柿だけで4、5種類。世界一巨大な柑橘類「晚白柚」があった。今では全国から注文があるという。「商店街から世界へ」という夢に「ジャズの街」構想がシंकロする。



ヴァリエティストア マルコー 中川修一さん
(たかつき中通り本通り商店街 / 生活雑貨)

高槻まつり、芥川倶楽部と数々の会で役員を務める中川さんは、商店街の組合を作る時に歩きまわって「うちに声をかけてくれた」と喜ぶ店の多さに驚き、コミュニケーションの大切さに気付いた。「音楽もキッカケの一つのはず。自分の広場、という感覚の人が増えたらええね」。自ら率先して動くバイタリティに影響される人続出。



平岡銘茶舗 木下能一さん
(高槻センター街商店街 / 銘茶)

「有山じゅんじはソレやねん。おしが委員長でアイツが副委員長」。軽妙な語り口で音楽愛を語る老舗のお茶屋。風格漂う木箱や煎る機械の傍らにお茶を飲みながら話す姿に人情が伺える。「ジャズストリートな、すごい人出やん。なんでやって分析したことある」。ミュージシャンに聞き、行きかう人を観察する好奇心で、今回も若者たちのためひと肌ぬぐ。



井づつ 井美正幸さん
(高槻センター街商店街 / 銘菓)

全国菓子大博覧会金賞の名店。銘菓「高槻城」の和菓子屋さんとして親しまれている。「伝統を守りながら、日々進化させたい」と独自のこだわりを持つ3代目の井美正幸さんは、今時の地元ソング「高槻魂」の歌い手であるナカノアツシさんに、「センター街魂」を作ってもらおうと画策中だ。オモロいものならすぐにやる。そのフットワークが頼もしい。